

## 2020年度 前期 授業評価アンケート結果について

### <アンケート集計の前提条件>

- ・教務システムを利用した授業アンケートの為、アンケートの集計単位である教員は代表教員となっており、複数教員で担当している科目や実技系科目などについては担当教員ではなく代表の教員での集計。
- ・各設問は1から5までの選択式の回答になっており、1が評価が一番低く、5が一番評価が高い。
- ・アンケート回収率は回答者数を受講者数で割った値で算出。

### <設問内容>

- 1 この授業は主としてどのような授業形態で実施されておりましたか。
- 2 この授業は遅刻や欠席について厳密に管理されておりましたか
- 3 この授業の欠席回数はどうでしたか
- 4 この授業に積極的に取り組みましたか
- 5 問4において、あまり積極的ではなかった、積極的ではなかったと答えた場合、それはどのような理由ですか(複数回答可)
- 6 シラバスに授業の目標・概要・計画の内容が分かりやすく記載されておりましたか
- 7 シラバスに記載されている授業の概要・計画に沿って授業は行われておりましたか
- 8 この授業に毎回出席したくなるような工夫は感じられましたか
- 9 この授業を受講することにより、シラバスに記載されている到達目標に掲げる内容が身につきましたか
- 10 毎回の授業において、授業が円滑に進むように担当教員が準備をしておりましたか
- 11 授業の主なテーマについて理解・興味が深まりましたか
- 12 毎回の授業において、目標や計画・進め方について明確でしたか
- 13 授業時間外でこの授業に関する予習、復習、作業、制作をしましたか
- 14 授業の内容・進め方・評価方法について説明がありましたか
- 15 授業を概ね時間通りに開始し、終業時間に終了しておりましたか  
(対面授業・リアルタイム型授業のみ回答)
- 16 板書や視聴覚教材、追加資料の配布等は授業内容の理解に有益でしたか
- 17 テキスト以外に授業内容に関連する資料の配布や参考文献の紹介等はお行われましたか
- 18 授業の中での説明・講義は聞き取りやすく明瞭でしたか
- 19 授業内で質問を受け付けたり、発言や意見をすることが設定されておりましたか  
(対面授業・リアルタイム型授業のみ回答)
- 20 授業中に考えを深める機会(ディスカッションやグループワーク等)はありましたか  
(対面授業・リアルタイム型授業のみ回答)
- 21 教員の熱意や工夫は感じられましたか
- 22 授業内容の不明・疑問点があれば授業時間外で質問できましたか
- 23 授業終了後も相談・質問に意欲的に耳を傾けてくれましたか
- 24 この授業は「性別、年齢、信条、国籍など」の違いによらず、公平に対応しておりましたか
- 25 この授業は私語や携帯電話などの迷惑行為がなく円滑に進んでおりましたか  
(対面授業・リアルタイム型授業のみ回答)
- 26 この授業を受ける中で、ほかの授業でやったことの意味が分かるなど、ほかの授業とのつながりが感じられましたか
- 27 あなたは授業内容を理解できましたか
- 28 この授業の総合的な満足度を教えてください

<アンケート回収率>

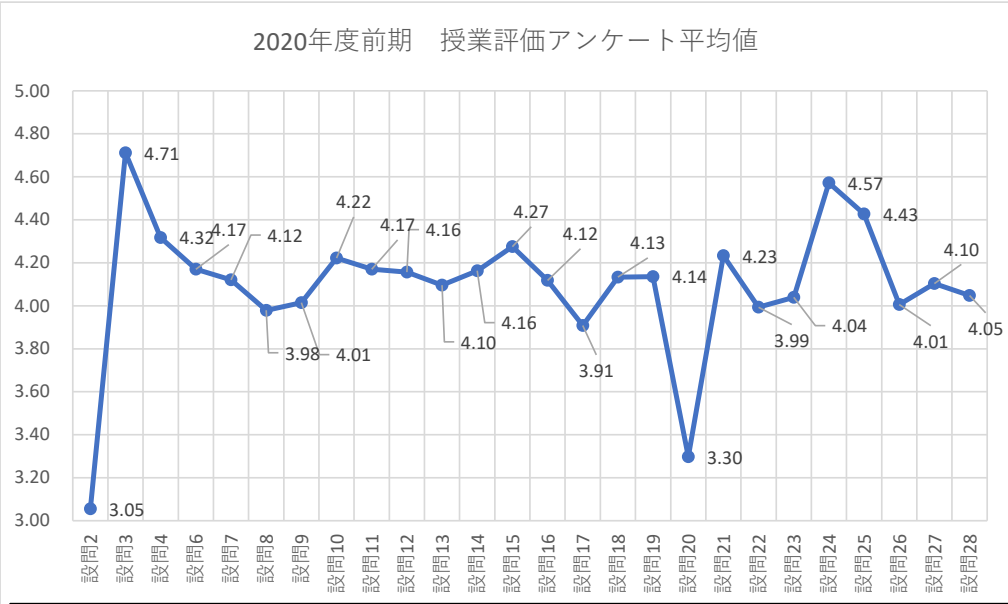
	受講者数	回答者数	回答率
2020年度	21865	6721	30.7%

(参考：2019年度 44%)

前年度は対面での授業内において、各担当教員から授業アンケートに回答するよう周知してもらったが、今年度については授業のオンライン化により、授業内での回答時間が確保できなかったことが回答率低下の要因だと考えられる。

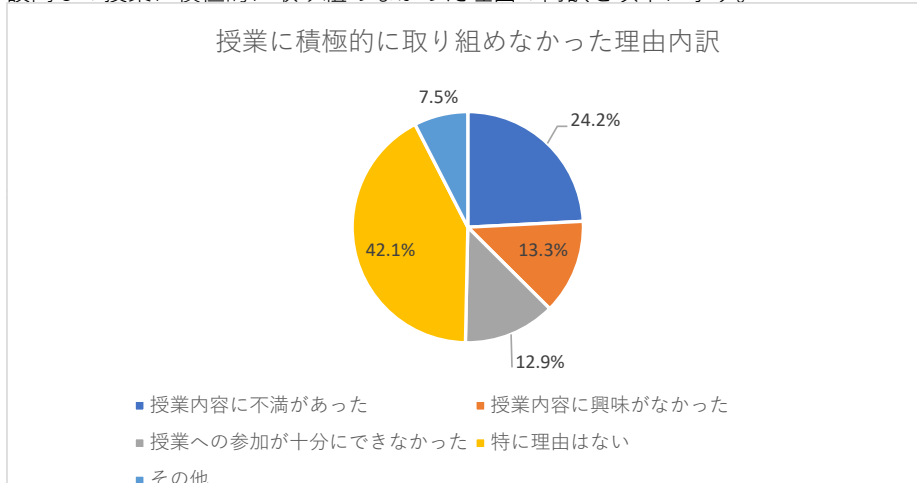
<全体アンケート結果>

2020年度前期の授業評価アンケート結果の平均値を以下に示す。



出席管理やディスカッションの時間確保などの設問項目については、全体として低い評価となった（オンライン化による影響が大きいと考えられる）。それ以外の項目は概ね平均4ポイント以上の評価結果となっている。

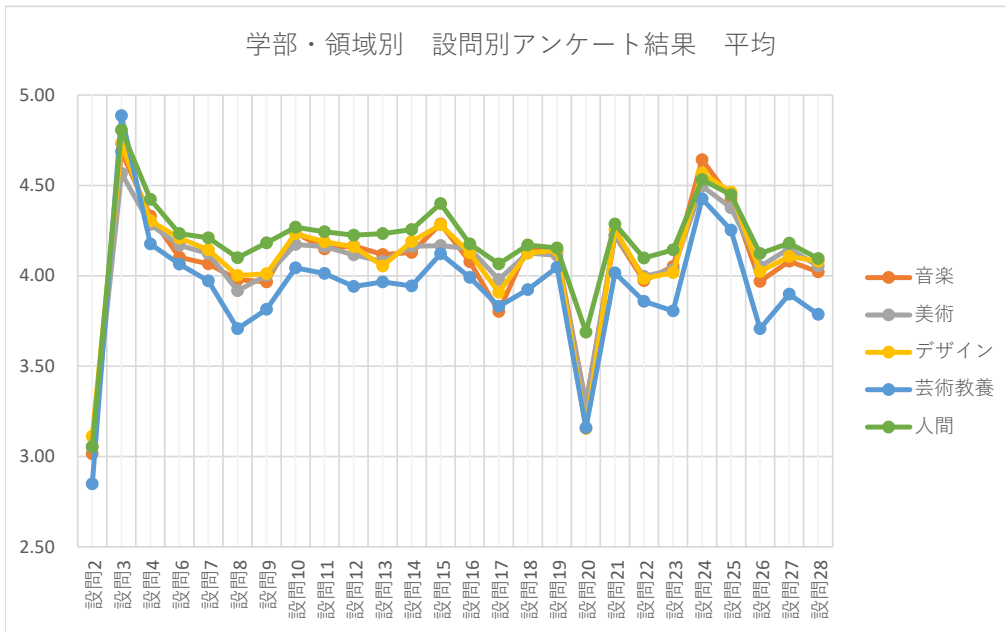
設問5の授業に積極的に取り組めなかった理由の内訳を以下に示す。



授業に積極的に取り組めなかった理由として、授業内容への不満や興味不足を理由とした学生が約4割存在した。授業内容を見直すことで学生への主体的な学びを向上させる余地があることが分かる。

<学部 領域別 アンケート結果>

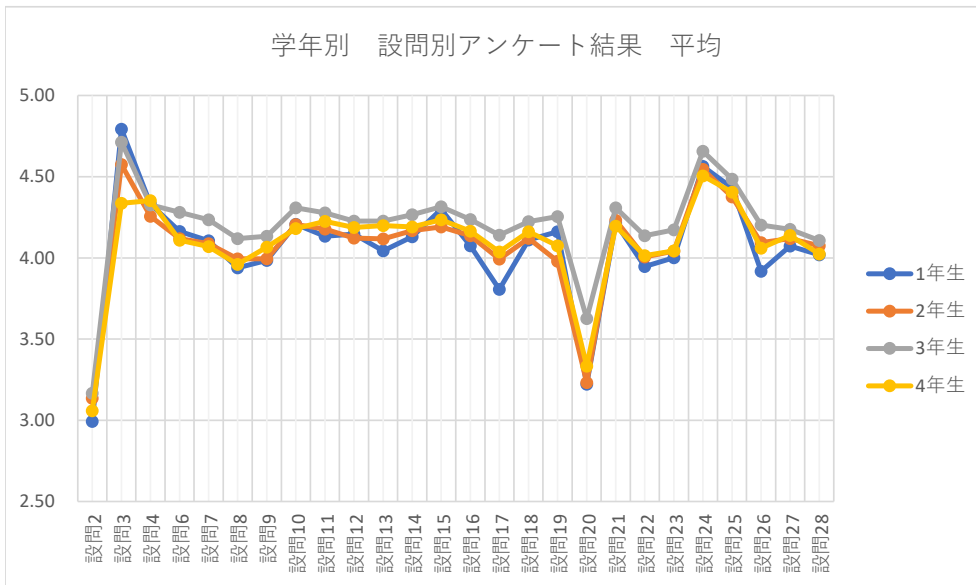
学部・領域別に集計した授業評価アンケート結果の平均を以下に示す。



学部・領域別にアンケート結果を比較すると、全体としての傾向に大きな差はないが、わずかに人間発達学部の学生の評価が高く、芸術教養領域の学生の評価が低い。

<学年別 アンケート結果>

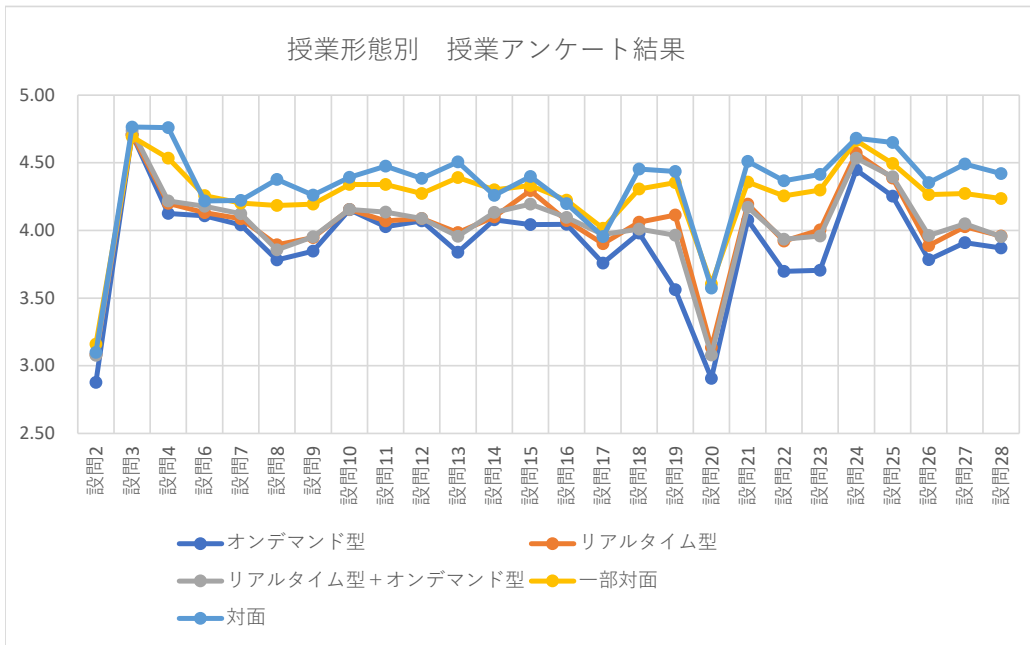
学年別に集計した授業評価アンケート結果の平均を以下に示す。



学年別にアンケート結果を比較すると全体としての傾向に大きな差がないことが分かる。

### <授業形態別 アンケート結果>

授業形態別（対面・オンライン等）に集計した授業評価アンケート結果の平均を以下に示す。

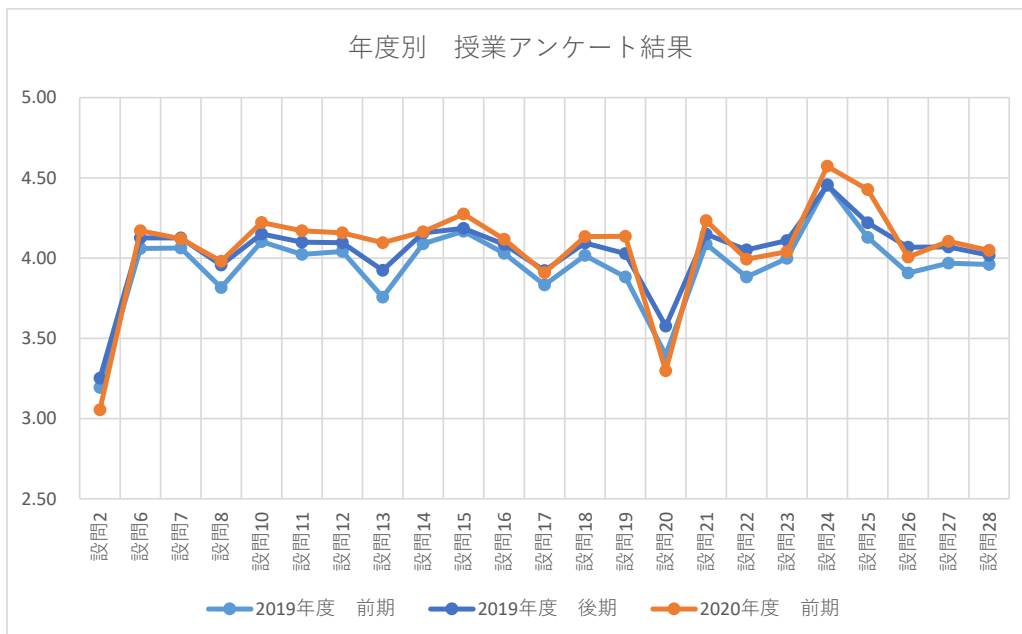


全体の傾向として、対面に近い授業形態になるほど評価結果が高いことが分かる。  
 （オンライン実施に比べ対面授業になると約0.5ポイントほど評価結果が高くなる。）  
 オンライン授業の満足度を向上させることが課題として挙げられる。

### <実施年度別 アンケート結果>

実施年度別（2019年度と2020年度の比較）に集計した授業評価アンケート結果の平均を以下に示す。

なお、2020年度については設問内容を変更しているため、設問1,3,4,5,9については比較対象から除外した。



年度別で比較すると、今年度実施した授業結果が前年度よりわずかではあるが、全体的に高い評価となっている。これは昨年度のアンケート結果を踏まえ、各授業で授業内容を改善した結果であると考えられる。また授業形態の多様化が、受講する学生の状況によっては良い評価に結びついていることが考えられる。

上述したオンライン授業の満足度を向上させることでさらなる評価の向上に結び付くと考えられる。